

平成23年度事前評価(公募型等)
研究評価結果報告書

山形県試験研究機関試験研究課題
山形県試験研究機関業務課題

平成23年9月
山形県研究評価委員会

1 平成23年度県試験研究機関試験研究課題及び業務課題の事前評価

1-1 評価対象及び評価方法

前回(平成23年6月実施)の研究評価以降の計画で、事前評価を受けていない試験研究課題1課題及び業務課題1課題並びに計画に変更のあった業務課題1課題を対象とし書面評価を行った。

これらの機関別内訳を次表に示す。

機関名	県試験研究機関 試験研究課題	県試験研究機関 業務課題
健康福祉部 衛生研究所		1
農林水産部 農業総合研究センター		1
森林研究研修センター	1	
計	1	2

1-2 評価の視点

評価の視点については、次表のとおりとした。

(1) 県試験研究機関試験研究課題

評価項目	評価の視点
目的の明確性	地域ニーズ、社会的要請や行政施策を踏まえ、試験研究の目的や目標を明確にするとともに成果を測る指標等を設定し、定量的に進捗管理できるようになっているか。
研究進度に応じた熟度	当該研究が目指すべき最終成果に対して当該研究が位置する段階を認識し、各段階における知見、技術的課題、連携・協働や公募型研究プロジェクトへの展開可能性などが明確になっているか。
成果波及の可能性	研究成果の活用(マーケティング)及び実現可能性(フィージビリティ・スタディ)の検討・検証がなされ実用化への道筋が明確になっているか。
研究手法の妥当性	アドバイザー・ボード等からの助言指導を受けての対応や、その他研究手法が効率的なものとして組み立てられているか。

(2) 県試験研究機関業務課題

評価項目	評価の視点
業務の合目的性	試験研究機関全体としてのミッション(期待される具体的な使命)の中で、当該業務の位置づけや必要性が明らかにされているか。

業務の発展性及び戦略性	当該業務が担う役割や個々の試験研究との関連について検討されているか。これらの情報について有用性や発展性について検討されているか。 相談や検査・調査、普及、指導等の業務を新たな研究開発への展開や地域経済、県民生活に還元しようとしているか。 他機関との連携・協働等について検討されているか。
業務実施体制の適切性	当該業務の内容が、試験研究機関の担っている役割分担や能力に見合っているか、効率的な運営、適切な実施方法が検討されているか。

1-3 評価結果

概要については、次表のとおり。個別課題毎の評価結果と評価委員会による助言・指導意見については巻末の資料(表1～2、頁3)のとおりである。

(1) 県試験研究機関試験研究課題

評価結果		課題数
研究計画が適切で、研究の展開が大いに期待される課題 (公募型研究課題にあつては、提案を妥当とする課題)	A	0
研究計画は概ね適切であり、研究の展開が期待される課題 (公募型研究課題にあつては、提案を妥当とする課題)	B	1
研究計画は概ね適切であり、内容を精査することにより、研究の展開が期待される課題 (公募型研究課題にあつては、内容を精査することにより、提案を妥当とする課題)	C	0
研究計画の大幅な見直しが求められる課題	D	0
計		1

(2) 県試験研究機関業務課題

評価結果		課題数
業務計画が適切であり、実施すべき課題	可	2
業務の内容や目標の設定など業務計画を見直したうえで実施すべき課題	不可	0
計		2

表1 平成23年度 県試験研究機関試験研究課題事前評価

整理番号	課題区分	新規計画変更の別	研究課題名	試験研究機関	外部評価結果	評価委員会指導・助言
1	公募	新規	震災後の海岸林再生に向けた広葉樹の津波に対する耐性の評価と海岸林造成方法の提案	森林研究研修センター	B	被害を受けた海岸林の再生に関する緊急の課題です。今回の津波が広葉樹林に与えた影響を調査し、広葉樹の津波への耐性を見極めた上で、その後の研究を進めてください。

表2 平成23年度 県試験研究機関業務課題事前評価

整理番号	課題区分	新規計画変更の別	研究課題名	試験研究機関	外部評価結果	評価委員会指導・助言
1	業務	新規	小児感染症研究	衛生研究所	可	研究対象のエンテロウイルス68型は、論文発表や、流行状況を詳細に疫学調査した報告も少ない課題であり、是非この機会に調査し、今後の感染症対策に活かしていただきたい。
2	業務	計画変更	水稲畑作物奨励品種決定調査	農業総合研究センター	可	奨励品種決定のため、継続的に実施するべき大切な業務です。しっかりした戦略を持ち、関係機関との連携を図り進めていただきたい。